

幼児教育から小学校への接続の課題

1. 子どものとらえ方
 - ×子どもは自分では何もできない、大人の思い通りになるという考え方
 - ×子どもの好きにさせることが、子ども主体の新しい考えだというとらえ方
 - 依存 共同でする 自分でできる
 - 子どもの精神的安定の拠り所・世話をする大人の影響力・大人の諾否の影響

2. 基本的生活習慣を身につける
 - 基礎的な体力・自信をもった挑戦
 - 生活リズム（食事・排泄・睡眠・着脱衣）
 - よりよい習慣（挨拶、片づけ、清潔、時間を守る、返事（応答）など）

3. 人と関わる力を育てる
 - 仲間との遊び
 - 感情のコントロール、適切な表出
 - 個人 - グループ - 学級
 - 一人一人を生かす集団（集団との関わりのなかで自己実現を図る）
 - ルールやマナーの基本

4. ことば環境の充実を図る
 - 「聞く力」
 - 「話す力」（思いを言葉で表現し、伝え合うことで友だちとコミュニケーションを図る）
 - 読み聞かせ活動の充実

5. 家庭ではできない自然体験・社会体験を直接的、具体的に体験する
 - 戸外や園外での直接的な自然体験・社会体験
 - 飼育栽培活動
 - 演奏や演劇の鑑賞とその表現 など

6. 親・地域と連携する
 - 子育て支援
 - 異年齢・異世代交流
 - 有害情報から子どもを守る
 - 開かれた園づくり

7. 幼児教育と小学校教育の相互理解を推進する
 - 幼児と児童の交流
 - 小学校教員の保育体験研修
 - 幼稚園教員・保育士の小学校教育への参画（TTなど）
 - 「遊びを通じた総合的な指導」について、保育場面あるいは生活科授業を通して共同で実践検討をおこない、教育内容・方法の接続を図る